個別のお見積はご対応しておりません。 ご参考までに、以下より料金表をダウンロードのうえご確認ください。

マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）事業共用機器の利用料

パス	利用者区分	データ創出設備を使用する場合		データ創出設備を使用しない又は技術相談の場合
		データ提供なし	データ提供あり ※2参照	
1　日	大学等所属者	17,500	12,250	12,250
	大学等所属者以外	35.000	24,500	24,500
半年（最大20日まで）	大学等所属者	175,000	122,500	122,500
	大学等所属者以外	350,000	245,000	245,000
年間（最大40日まで）	大学等所属者	350,000	245,000	245,000
	大学等所属者以外	700,000	490,000	490,000

- 本ページでの表示価格は全て税込です。
- 国内外の大学，高等専門学校，公的研究機関又はこれに準ずる機関に属する者（以下「大学等所属者」という.
- １日パス（ARIM　共用設備等を１日間利用することができるものをいう.
- １日パスに相当する時間数を８時間とする．※1参照
- 半年パス（６月を超えない範囲内において，１日パスを２０回利用することができるものをいう.）
- 年間パス（１年を超えない範囲内において，１日パスを４０回利用することができるものをいう.）
- 利用料は前納しなければならない．但し，~~技術代行の~~１日パスに係る利用料金については，後納とする.
- 「ARIM　データ提供可」を選択された場合は、計測データと計測した試料の情報を提供(エンバーゴ(非公開)期間後に一般公開)して頂きます.

※　データ創出設備は以下のとおり．https://www.jaist.ac.jp/project/arim/equipment/

核磁気共鳴スペクトル測定装置 800MHz(NMR 800MHz)

核磁気共鳴スペクトル測定装置 500MHz(NMR 500MHz)

核磁気共鳴スペクトル測定装置 400MHz(NMR 400MHz)

フーリエ変換イオンサイクロトロン共鳴質量分析計（FT-ICR MS）

マトリックス支援レーザー脱離イオン化タンデム飛行時間型質量分析計（MALDITOF/TOF MS）

ガスクロマトグラフ質量分析計（GC-MS）

液体クロマトグラフ質量分析計（LC-MS）

原子分解能走査透過型電子顕微鏡(STEM)

透過電子顕微鏡(TEM)

低加速走査電子顕微鏡(FE-SEM)

走査型オージェ電子分光顕微鏡（SAM）

大気中原子間力顕微鏡（AFM）

X線光電子分光装置(XPS)

大気中光電子分光装置（PYS）

※1
〇利用時間の計算方法について
1日パスは、合計8時間の利用を1日分として計算します。
必ずしも1日のうちに8時間連続して利用する必要はなく、複数日に分けて利用した場合でも、利用時間の合計が8時間に達すると1日分としてカウントされます。
例えば、以下のように利用した場合です。
・11月4日：2時間 ・11月5日：2時間 ・11月6日：4時間
この場合、利用した日は3日間ですが、合計利用時間は8時間となるため、1日分の利用として計算されます。
また、各パスでご利用いただける時間は、以下のとおりです。
・1日パス：8時間分 ・半年パス：20日分（合計160時間） ・年間パス：40日分（合計320時間）

※2
〇料金表の「データ提供あり」についての説明

「データ提供あり」とは、本装置を利用して取得した実験データを、ARIMのRDEシステムに登録していただくことを意味します。

RDE（Research Data Express）は、取得した実験データを、データ駆動型研究に活用しやすい形式に整理・構造化し、クラウド上に保存するためのシステムです。

ARIMでは、全国26の参画機関で取得された共用設備の実験データのうち、所定の同意を得たデータを蓄積し、研究者などが活用できる環境の整備を進めています。

なお、登録されたデータは、原則として2年間の非公開期間（エンバーゴ）を経た後、ARIMデータポータルサイトで公開されます。